

南高尾山稜周遊コース山行報告

【山行日】2020年3月22(日) 晴れ

【集合】岩舟支所P AM 5:30

【費用】マイカー1台 : 2,100円

【メンバー】CL:鈴木、SL大西、青柳、石澤、清水カ、清水ヒ、関、福島、

【コースタイム】岩舟支所 P5:30=高尾山口駅
P6:40/7:00~高尾山 8:30/8:40~城 9:35/9:45
~大垂水峠 10:30~こんぴら山 11:10/11:55
~中沢山 12:05/12:15~西山峠 12:50~
草戸山 13:40/13:50~四辻 14:55~高尾山口
駅 P15:10/14:20~羽生 P/A16:20/16:35=
岩舟支所 P16:50



GWの蝶ヶ岳山行のトレーニングとして、南高尾山稜のロングトレイルを計画した。日本一登山者が多い高尾山から大洞峠を経て、東高尾の草戸山から高尾山口駅に周遊するコースを歩くことに



した。岩舟支所を5:30に出発し、東北道から圏央道を通り高尾山口駅の駐車場に車を止める。新型コロナウイルス感染の影響か、駐車場は半分くらい空いておりトイレの近くに車を止めることが出来た。

出発の準備を整えたら駅前に移動し、駅前広場でストレッチを入念に行ってから出発する。駅から右に川沿いの道路を歩き、数分でケーブルカー駅の清滝駅に着く。3月とは思えない暖かな日で、駅前の桜が我々を迎えてくれる。駅の左側の道を進むと直ぐ左に稲荷山コース

への入口があるが、直進して6号路の琵琶滝コースを進む。沢沿いの広い道を歩き、東京高尾病院の手前から左の山道に入り妙音橋を渡る。沢の右岸を歩き、まもなく名前の由来である琵琶滝が現れる。しばらく沢音を聞きながら登り、終盤は沢の中を飛び石伝いに源頭を目指して登って行く。源頭直下で右の登山道を巻くように登り、ここから山頂までは木の階段の急登が続く。登り切ると山頂手前に綺麗なトイレがあり、全員トイレを済ませて山頂に着く。山頂も登山者が少なく、山頂標識の前で記念写真をゆっくり撮ることが出来た。展望台から富士山を見るが、丹沢の山々しか見えな



かった。

ところが若い人には見えるらしく、「薄く見えるよ」と言われたが良く分からない。少し下った広場の



ベンチで休憩し、デコポンや菓子を食ベエネルギーを補給する。ここから城山までは快適な尾根歩きとなり、景色を楽しみながら軽快に歩く。皆さんまだ体力に余裕が見られ、木々の芽のふくらみやスマレの花に春を感じながら会話が弾む。中間の一丁平でトイレ休憩し、階段状の登山道を登って行くと城山山頂に着く。

いつもは大勢の登山者で賑わっているが、今日は登山者が少なく静かな山頂である。

休憩後、南側の茶店が植えた水仙やムスカリ

等のお花畑を見ながら登山道を少し戻り、南に大垂水峠へ向かって下って行く。南高尾への登山道に入ると登山者は少なく、静かな山歩きを楽しめる。小さなアップダウンを繰り返しながら下り、急坂を九十九折れに下ると沢沿いの道になり大垂水峠で国道20号線に出る。国道を左に進み少し先から左の階段を登るが、去年の台風19号の被災で登山道が崩落し通行止めになっている。階段を上がらず直進し、300m先から右の林道に入る。林道を300mくらい行くと右に登山道入り口があり、ここから急坂を登ると縦走路の尾根に出た。



尾根を南に向かって登るが、大垂水峠から登山者が多くなりトレイルランの方が多くな

る。大洞山の登りはきつく、疲れた体には堪えるようだ。長丁場の歩きなので疲れ切ってはまずいので、次のコンピラ山でランチタイムを取る。コンピラ山頂には細長いテーブルとベンチがあり、ベンチの後ろにはザックを掛けるフックがあり、皆さんこれが気に入ったようだ。



今日のランチのメニューはチタケうどん。

チタケやヒラタケ、シイタケなど、キノコたっぷりのうどんは美味しく、体が温まる。煮卵やキュウリの漬物等も出て、お腹がいっぱいになったら出発する。ランチを予定した中沢山下のベンチで休憩し、余力がある人は山頂をピストンで登ってくる。少し先の見晴台からは、眼下に津久井湖を従えて遠く丹沢の山々が見渡せる。

今年は花が咲き時期も早く、シャガやヤマブキ、エイザンスミレなどが目を楽しませてくれる。

この先はピークをいくつも越すが、ほとんど巻道があり登らずに進むことができる。

西山峠は左に進み、泰光寺山から三沢峠を経て榎窪山に着く。

ここはT字路になっており、北に向かって草戸山へ向かって行く。ここからは東高尾の山域となり、城



山湖を右に見ながら爽快に歩ける。

草戸山に着くと登山者が多くなり、ベンチで休む人が大勢いた。目の前の大きな展望台からの眺めは素晴らしく、城山湖の先には八王子や東京街並みが見渡せる。ここまでくれば残り四分の一だが、ここからが結構きつい歩きになる。案内標識には四辻まで1時間と書いてあるが、ピークを10個くらい越えて行くので疲れた体にはとても堪える。皆さん黙々と歩き、休憩を取るとしゃがみこんで水分を補給する。ようやく道路から車の

音が聞こえ、四辻が近いと安堵する。四辻から左に下ると民家の脇を通り、国道20号線に出る。

国道を右に進み橋を渡ると高尾山口駅に着き、皆さんに笑顔が戻った。トイレを済ませたら「炭酸飲料を思いっきり飲みたい！」と冷えたコーラやレモンソーダをググッと飲み干す。靴を履き替え荷物を積んだら帰路につき、岩舟支所に向かう。途中、羽生PAに寄り、ソフトクリームを食べ、お土産をゲットする。皆さんロングトレイルを歩き切り、達成感に満ち溢れたとても良い顔をしていた。

